

令和3年度病虫害発生予察情報 注意報第2号

令和3年5月27日
岩手県病虫害防除所

ネギアザミウマによる被害が全県的に増加しています。 効果の高い薬剤で、直ちに防除を実施しましょう。

- 1 対象作物、病虫害 : ねぎ、ネギアザミウマ
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期 : -
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

- (1) 5月下旬の巡回調査では、発生圃場率は100%（平年60.1%）で、多発年と同様に被害が急増している（図1、2）。
- (2) 6月の気温は、平年並か高い予報であり、ネギアザミウマの発生に好適な条件である。

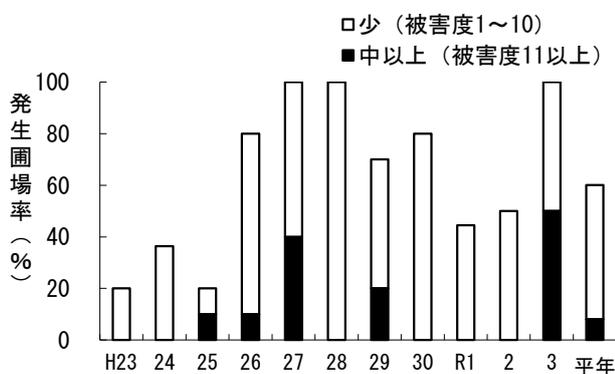


図1 ネギアザミウマの発生圃場率の年次推移（5月下旬）

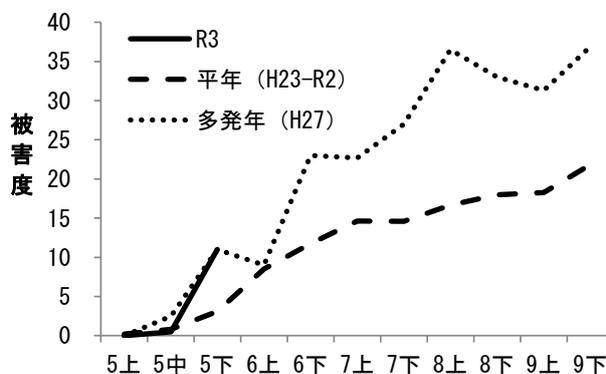


図2 ネギアザミウマによる被害度の時期別推移

6 被害の特徴

- (1) 吸汁により白いかすり状の斑紋を生じる（図3左）。
- (2) 多発すると株全体が白っぽくなり（図3右）、放置すると下位葉や中位葉が枯死する。



図3 ネギアザミウマによる被害葉
（左：被害程度【中】の葉、右：被害程度【甚】の葉）



図4 ネギアザミウマ成虫

7 防除対策

- (1) 被害が見られる圃場では、下表を参考に、ネギアザミウマに対して効果のある薬剤で、直ちに防除する。
- (2) 特に被害が目立つ圃場では、効果の高いディアナSCやベネビアOD、ハチハチ乳剤、ファインセーブフロアブル、グレーシア乳剤のいずれかの薬剤で防除する。
- (3) 高温条件下では世代の経過が早い（25℃では16～17日程度で1世代経過）、間隔が空かないように薬剤散布する。
- (4) 茎葉散布は散布ムラが生じないように畝の両側から丁寧に行う。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤でローテーション散布を行う。

表 ねぎのアザミウマ類に適用のある農薬

薬剤名	系統名	農薬分類 (IRAC)
ディアナSC	スピノシン	5
ベネビアOD	ジアミド	28
ハチハチ乳剤	その他	21A
ファインセーブフロアブル	その他	UN
グレーシア乳剤	その他	30
アルバリン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	4A
スタークル顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	4A
リーフガード顆粒水和剤*	ネライストキシン	14

*ネギアザミウマで登録

【利用上の注意】

本資料は、令和3年5月13日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際は（1）使用基準の遵守（2）飛散防止（3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

